



①⑥ Vomero 地区にあるアンジェロさんの 素敵すぎる自宅にてインタビューをさせていただきました  
②1970 年ころのナポリ中心部、トレド通りのすぐ近くにあるスペイン 地区、バスクアーレ・スクーラ通り。  
道行く人々の頭上には、昔ながらの趣で掲げられている「Coviello Assicurazioni(コヴィエッロ保  
険)」 ③アマルフィで行われたアンジェロさんとアンナさんの結婚式まるで映画の1シーンですね! ④  
天皇陛下がナポリに行かれた時に謁見されたのが弁護士の叔父様弁護士ミケーレ・ディジャンニ  
⑤ナポリの生地を使い日本で仕立てた浴衣をプレゼントすべく採寸中!



ないものを持っている。その失いたくないものを守るために、私たちは存在しているのです。しかし順調な時代ばかりではありません。2000 年代に入るとき、保険業界には大きな変化が起こりました。保険会社は高いリスクを避け、より計算しやすく収益性の高いリスクだけを引き受けようとする傾向を強めていきます。大きな企業、大きな公共機関、高いリスクを伴う案件は、以前のように扱えなくなっていました。長く関係していた保険会社の経営が揺らいだこともありました。私たちの仕事も大きな影響を受

けました。会社には多くの社員がいました。家族を持つ人もいる。自分の判断ひとつで人の暮らしが変わる。あの時期は本当に厳しかったです。そのとき私のそばにいて支えてくれたのが妻のアンナでした。アンナとは若いころ海辺の別荘で出会いました。すぐに恋人になったわけではありません。今のように携帯電話がある時代でもない。夏に会い少しずつ時間を重ね長い友人期間を経て、やがて人生をともにする相手になりました。1987 年に結婚し、以来ずっと私を支えてくれています。アンナ自身も社会的に大き

な役割を担い現在はマレーシアの名譽領事としても活動しています。彼女の存在がなければ、私はあの厳しい時期に新しい道を描くことはできなかったでしょう。

ナポリの歴史の中で、  
新しい保険の形をつくる

経営がもつとも厳しい時期に根本から仕事を見直しました。これからは単なる代理店ではない。保険会社の商品を扱うだけの存在ではなく、お客様の側に立つ相談役に